

県立病院基本理念

県民に支えられた病院として
県民医療の最後の砦となる



4 F 病棟のスタッフです

4階病棟は内科系で、一般内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科の患者さんが主に入院されています。退院にあたっては、安心してご自宅や施設に帰っていただけるよう地域連携室とも調整をしながら支援させていただいております。“褥瘡の院内発生0”を今年度の病棟目標として看護の質向上に頑張っています。

目次

- 認定看護師をご存知ですか …… 1
- HPリニューアル …… 2
- はじめまして、地域連携室です …… 3
- メタボリック症候群にならないための運動療法I …… 3

認定看護師をご存知ですか？



認定看護師とは、1997年に特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践ができ、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上を図る目的で発足した資格認定制度です。認定看護師には、3つの役割があります。

2010年12月1日現在、19分野7364名の認定看護師が、全国の医療機関や地域で活動しています。

《認定看護師の役割》

実践	個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する
指導	看護実践を通して看護職に対し指導を行う
相談	看護職に対しコンサルテーション(相談)を行う

《徳島県の認定看護師》

救急看護	3	皮膚・排泄ケア	5	集中ケア	3	緩和ケア	5
癌化学療法看護	4	癌性疼痛看護	2	感染管理	8	糖尿病看護	1
手術看護	2	訪問看護	1	摂食・嚥下障害看護	2		
脳卒中リハビリテーション看護	1	小児救急看護	2	合計: 39名			

県立病院では、制度の発足当時から計画的に認定看護師を養成し、現在、救急看護1名、集中ケア1名、緩和ケア2名、皮膚・排泄ケア1名、感染管理3名の計8名の認定看護師がいます。中央、三好、海部病院で専門的な知識や技術を活用しながら、看護実践を重ねるとともに、専門分野の研修会開催やスタッフの相談に応じるなど臨床の看護の質の向上に貢献しています。

海部病院には、緩和ケア認定看護師と感染管理の2名の認定看護師がいます。



看護局長 郡 利江

緩和ケア認定看護師

【緩和ケア認定看護師の役割】

2006年にがん対策基本法が制定され、早期から緩和ケアの推進が重要課題となっています。緩和ケアは、苦痛を伴う疾患全てが対象で終末期だけでなく病氣と診断されたときから始まるのです。

緩和ケア認定看護師の役割は、多職種と協働し、患者さんやご家族の様々な苦痛症状(身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな)の緩和(死別後のケアも含む)を図り、QOLの向上に努めることです。

【緩和ケア認定看護師として】

私は、2002年にホスピスケア認定看護師(2005年に名称変更で緩和ケア認定看護師)になりました。認定看護師の研修中にごん体験者の講師が「患者さんに誠実であって欲しい。誠実であれば技は後からついてくる。」と話された言葉に感銘を受けました。私の認定看護師としての活動のベースになっています。

中央病院では、緩和ケアと相談業務を担当していました。看護実践を通して色々な人との出会いと別れがあり、私自身が成長させていただきました。また、院内外の研修会やがん患者さんのサ

ポートプログラムなどを通し、多くの仲間もできました。仲間や患者さんの笑顔、「ありがとう」の言葉に支えられて活動してきました。

海部病院では、婦人会で「緩和ケア」について講演する機会をいただき、それがご縁で訪問看護を始めることができました。ご遺族に、お会いするたびに感謝していただきますが、ご家族の人生最期の大切な時を共有させていただき、私のほうが感謝の気持ちで一杯です。

これからも一人ひとりの患者さんやご家族と誠実に向き合い、思いを尊重し、患者さんやご家族の力が最大限発揮できるような看護を行っていきたいと思います。



4階病棟 藤田 洋子

感染管理認定看護師

【感染管理認定看護師の役割】

感染管理認定看護師の役割は、高度な知識と技術をもつ看護ケアの実践家であり、自施設の感染率、感染対策を十分に把握した上で、感染発症の低下、感染防止のための院内各部関係との調整および促進、感染防止のための教育をスタッフに行うことです。

【感染管理認定看護師として】

感染防止対策委員会、感染対策チームで活動し、主に院内ラウンドで感染防止対策の遵守状況を把握し、感染対策マニュアルの見直しや改善を行っています。

また、全職員を対象とした手指衛生、インフルエンザ対策についての勉強会、病棟では看護ケア上問題となる感染症に対して、可能な限りタイムリーに勉強会を実施し、院内感染防止に努めています。

さらに、職業感染予防のためのワクチン接種の推進、コンサルテーション、中心静脈カテーテル関連血流感染の基礎データ収集等など、院内感染対策の質を向上させることを目標に、活動を行っています。

近年、医療環境の進歩により、救命技術が向上すると同時に多剤耐性菌などの問題がクローズアップされています。医療の現場では、病原微生物からいかに患者様および医療従事者を守り、院内感染を防ぐかということは基本的な課題です。こうした課題に対し、感染管理認定看護師として対応を図っていきますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

* 海部病院ホームページリニューアル *

去る10月に海部病院ホームページをリニューアルしました。

海部川や千年サンゴなど県南の魅力あふれる画像や動画を用いてデザインを一新し、皆様に利用していただきやすいようコンテンツの配置などレイアウトの改善も行っておりますので是非ご覧ください。

URL:<http://www.tph.gr.jp/~kaifu/1%20top%20page/index.html>



はじめまして 地域支援室です

- 2010年4月に設置されました
- 主な業務内容
 - ① 地域連携…地域の医療機関との連携
転医・退院調整
 - ② 訪問医療…診療・看護・リハビリ
(訪問医療は医療保険のみ対象で、介護保険は対象外です)
 - ③ 医療・福祉に関する各種相談
 - ④ 設置場所…受付の奥 (看板がかかっています)



住み慣れた家で
家族とともに暮らしたい…

患者・家族の方の
こんな思いを支援します



お気軽に お立ち寄りください



昔は漁に出ていたよ

メタボリック症候群にならないための運動療法 I

運動療法のポイントは、ある程度の時間をかけて体の中の大きな筋肉を継続的に動かすようにすることです。日常生活の中で手軽にできる歩行やジョギングなどが適しています。

【目標運動量】 速度：80～100m/分

距離：3km/日 (30～40分)

：20km/週

心拍数は120拍/分を超えない範囲で

最初は軽い運動から始め、徐々に運動量を増やしていきましょう

注意！：準備運動をしないで急に激しい運動をすると、筋肉や心肺機能などへの負担が大きくなります。冬場は特に準備運動を行ってからすることが大切です。



発行日：平成23年2月1日

発行：徳島県立海部病院広報委員会 〒775-0006 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村75-1

T E L : 0884-72-1166 FAX:0884-72-3521

H P : <http://www.tph.gr.jp/~kaifu/1%20top%20page/index.html>